



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中戸川 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 三影 晃 TEL 03-6636-9502
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 214,190 | 7.6 | 9,031 | 16.8 | 9,348 | 3.9 | 6,211 | △4.1 |
| 2022年3月期 | 199,097 | 24.7 | 7,734 | 38.3 | 8,996 | 32.8 | 6,477 | △13.3 |

(注) 包括利益 2023年3月期 8,830百万円 (10.1%) 2022年3月期 8,021百万円 (△56.7%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 161.97 | — | 6.2 | 4.0 | 4.2 |
| 2022年3月期 | 165.87 | — | 6.9 | 4.0 | 3.9 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 △860百万円 2022年3月期 370百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 232,745 | 106,050 | 44.2 | 2,700.87 |
| 2022年3月期 | 229,727 | 100,075 | 42.3 | 2,505.01 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 102,946百万円 2022年3月期 97,253百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 6,148 | △1,617 | △5,934 | 13,606 |
| 2022年3月期 | 8,768 | △5,857 | △6,568 | 14,468 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | 1,941 | 30.1 | 2.0 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | 1,905 | 30.9 | 1.9 |
| 2024年3月期 (予想) | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | | 31.8 | |

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|---------|-------|-------|-----|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 92,000 | △12.0 | 3,700 | 9.7 | 3,700 | △29.1 | 2,300 | △33.3 | 60.34 |
| 通期 | 184,500 | △13.9 | 9,200 | 1.9 | 9,200 | △1.6 | 6,000 | △3.4 | 157.41 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2023年3月期 | 40,445,568株 | 2022年3月期 | 40,445,568株 |
| 2023年3月期 | 2,329,563株 | 2022年3月期 | 1,621,936株 |
| 2023年3月期 | 38,351,979株 | 2022年3月期 | 39,054,524株 |

（参考）個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 7,834 | 2.2 | 3,254 | 4.8 | 3,195 | △12.7 | 3,073 | 4.1 |
| 2022年3月期 | 7,663 | △9.4 | 3,106 | △26.8 | 3,659 | △23.2 | 2,951 | △59.9 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 80.14 | — |
| 2022年3月期 | 75.58 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|---------|--|--------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2023年3月期 | 149,860 | | 65,727 | | 43.9 | | 1,724.42 | |
| 2022年3月期 | 148,144 | | 64,968 | | 43.9 | | 1,673.42 | |

（参考）自己資本 2023年3月期 65,727百万円 2022年3月期 64,968百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 4,800 | △10.1 | 2,300 | △22.7 | 2,400 | △21.6 | 2,200 | △23.0 | 57.72 |
| 通期 | 7,200 | △8.1 | 2,300 | △29.3 | 2,200 | △31.2 | 2,000 | △34.9 | 52.47 |

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

(2) 決算説明会（証券アナリスト、機関投資家向け）について

当社は、決算説明会をライブ配信形式で開催いたします。なお、説明資料および説明会動画につきましては、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 6 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 7 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 8 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 9 |
| (1) 連結貸借対照表 | 9 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 11 |
| 連結損益計算書 | 11 |
| 連結包括利益計算書 | 12 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 13 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 15 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 16 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 16 |
| (会計方針の変更) | 16 |
| (セグメント情報等) | 17 |
| (1株当たり情報) | 20 |
| (重要な後発事象) | 20 |
| 2023年3月期 決算短信 補足資料 | 21 |

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績の概況

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|-----------------------|---------|---------|--------|
| 売上高 (百万円) | 199,097 | 214,190 | 15,093 |
| 営業利益 (百万円) | 7,734 | 9,031 | 1,297 |
| 経常利益 (百万円) | 8,996 | 9,348 | 351 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 6,477 | 6,211 | △266 |

当期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の我が国経済は、ウィズコロナの下、各種政策の効果もあって、景気は持ち直しの兆しがみられました。サービス消費やインバウンド需要の回復を受け、非製造業では増益が続いています。一方、海外需要の回復に伴う輸出の増加などを背景に、前半好調だった製造業の企業収益は、円安や資源高による原材料価格の高騰などの影響で、素材業種を中心に足元では弱含んでいます。世界的な金融引締め等が続く中、欧米を中心とする海外経済の減速など、下振れリスクが高まっており、不確実性が大きい状況が続いています。

このような経済環境の下、当社グループの当期の売上高は、2,141億90百万円（対前期比150億93百万円増）、営業利益は、90億31百万円（対前期比12億97百万円増）となりました。産業機械部門およびロックドリル部門は増収増益となり、ユニック部門は減収減益となりましたが、機械事業全体では、増収増益となりました。素材事業では、金属部門は増収増益、電子部門は減収減益、化成品部門は増収減益となり、全体では、増収減益となりました。また、不動産事業は減収増益となりました。営業外収益に為替差益14億62百万円ほかを計上した結果、経常利益は、93億48百万円（対前期比3億51百万円増）となりました。特別利益に投資有価証券売却益3億62百万円ほかを計上し、特別損失に古河大阪ビルの解体工事費用について、工事の進捗に対応した費用4億70百万円ほかを計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、62億11百万円（対前期比2億66百万円減）となりました。

②セグメント別の概況

〔産業機械〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|--------|--------|--------|
| 売上高 (百万円) | 17,723 | 17,943 | 220 |
| 営業利益 (百万円) | 1,396 | 1,515 | 118 |

産業機械部門の売上高は、179億43百万円（対前期比2億20百万円増）、営業利益は、15億15百万円（対前期比1億18百万円増）となりました。当期末の受注残高は、橋梁において道路橋、マテリアル機械において砕石プラントなどの受注があったため、前期末に比べ増加しました。また、ポンププラント、環境製品および橋梁は増収となりましたが、マテリアル機械は減収となりました。大型プロジェクト案件は、中央自動車道新小仏トンネル工事向け密閉式吊下げ型コンベヤ（SICON®）等について出来高に対応した売上高を計上しましたが、一部工事の延期の影響もあり、減収となりました。

〔ロックドリル〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|--------|--------|--------|
| 売上高 (百万円) | 30,910 | 35,752 | 4,841 |
| 営業利益 (百万円) | 1,117 | 3,030 | 1,913 |

ロックドリル部門の売上高は、357億52百万円（対前期比48億41百万円増）、営業利益は、30億30百万円（対前期比19億13百万円増）となりました。国内については、油圧ブレーカの大型機種の出荷増や、トンネルドリルジャンボの高機能機種へのシフトが進み、補用部品の出荷増および特注機の整備台数増などにより、増収増益となりました。海外については、主として、北米における油圧ブレーカ、油圧クローラドリルおよび補用部品の出荷増に加え、円安による増収効果もあり、増収増益となりました。

〔ユニック〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|--------|--------|--------|
| 売上高 (百万円) | 28,305 | 27,961 | △343 |
| 営業利益 (百万円) | 2,165 | 1,547 | △617 |

ユニック部門の売上高は、279億61百万円（対前期比3億43百万円減）、営業利益は、15億47百万円（対前期比6億17百万円減）となりました。国内については、トラックの生産遅延および減産によるクレーン架装の遅れを主因として減収となり、また、鋼材など原材料価格の値上げ等により原価率が悪化して減益となりました。海外については、欧米におけるミニ・クローラクレーン、東南アジア、オセアニアおよび中近東におけるユニッククレーンの出荷が増加し、増収増益となりました。

【機械事業合計】

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|--------|--------|--------|
| 売上高 (百万円) | 76,938 | 81,658 | 4,719 |
| 営業利益 (百万円) | 4,679 | 6,093 | 1,414 |

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、816億58百万円（対前期比47億19百万円増）、営業利益は、60億93百万円（対前期比14億14百万円増）となりました。

〔金 属〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|---------|---------|--------|
| 売上高 (百万円) | 102,995 | 111,424 | 8,429 |
| 営業利益 (百万円) | 940 | 1,276 | 336 |

金属部門の売上高は、1,114億24百万円（対前期比84億29百万円増）、営業利益は、12億76百万円（対前期比3億36百万円増）となりました。電気銅の海外相場は、10,247米ドル/トンで始まりましたが、主要中央銀行の金融引締策が加速したことや、中国のゼロコロナ政策の影響で値を下げる展開となり、7月15日には7,000米ドル/トンまで下落しました。その後は、1月に中国の需要回復期待と米利上げ減速観測に支えられ、9,400米ドル/トン台まで一時的に回復しましたが、期末には8,935米ドル/トンとなりました。電気銅の販売数量は減少しましたが、電気金の販売数量は増加し、為替相場が円安に振れたこともあり、増収となりました。

〔電 子〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|-------|-------|--------|
| 売上高 (百万円) | 7,271 | 6,926 | △345 |
| 営業利益 (百万円) | 666 | 500 | △165 |

電子部門の売上高は、69億26百万円（対前期比3億45百万円減）、営業利益は、5億円（対前期比1億65百万円減）となりました。高純度金属ヒ素は、国内外ともに主要用途である化合物半導体向けの市場が在庫調整期に入ったため、減収となりました。また、窒化アルミセラミックスは、熱対策部品向けや半導体製造装置用部品向けなどの需要が堅調に推移し、増収となりました。コイルは、半導体不足などの影響による自動車の減産の影響を受け、減収となりました。

〔化成品〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|-------|-------|--------|
| 売上高 (百万円) | 7,896 | 8,454 | 557 |
| 営業利益 (百万円) | 743 | 532 | △210 |

化成品部門の売上高は、84億54百万円（対前期比5億57百万円増）、営業利益は、5億32百万円（対前期比2億10百万円減）となりました。売上高については、酸化銅は、パソコン需要が減少し、販売数量が減少したため、銅価の上昇を主因として販売単価が上昇したものの、減収となりました。また、亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が回復したことに加え、銅価の上昇を主因として販売単価が上昇し、増収となりました。一方、営業利益については、原料価格の上昇等により製造コストが増加し、減益となりました。

【素材事業合計】

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|---------|---------|--------|
| 売上高 (百万円) | 118,163 | 126,804 | 8,640 |
| 営業利益 (百万円) | 2,349 | 2,309 | △40 |

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、1,268億4百万円（対前期比86億40百万円増）、営業利益は、23億9百万円（対前期比40百万円減）となりました。

〔不動産〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|-------|-------|--------|
| 売上高 (百万円) | 2,115 | 2,056 | △58 |
| 営業利益 (百万円) | 743 | 835 | 92 |

不動産事業の売上高は、20億56百万円（対前期比58百万円減）、営業利益は、8億35百万円（対前期比92百万円増）となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）は、商業施設については、コロナ禍前の水準までは回復していないものの、行動制限の解除に伴って売上げが増加し、また、商業テナントに対する一部賃料の減免がなくなったため、増収となりました。一方で、賃料収入全体としては、事務所賃料収入の減少などにより、減収となりました。

〔その他〕

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|------------|-------|-------|--------|
| 売上高 (百万円) | 1,879 | 3,671 | 1,791 |
| 営業利益 (百万円) | 17 | △133 | △150 |

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を行っています。売上高は、36億71百万円（対前期比17億91百万円増）、営業損失は、1億33百万円（前期は17百万円の利益）となりました。

③次期の見通し

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、売上高は、2023年3月期に比し、296億90百万円減収の1,845億円となる見込みで、営業利益については、1億68百万円増益の92億円となる見込みです。

セグメント別の業績予想は、次のとおりです。

産業機械部門は、老朽化設備の更新需要が見込まれるポンプおよびマテリアル機械、ならびに橋梁などで増収を見込みます。全体としては、売上高は、増収となるものの、比較的採算の良い環境製品の減収により、営業利益は、当期並みとなる見込みです。

ロックドリル部門は、リニア中央新幹線の工期遅れなど、トンネルドリルジャンボ関連の売上げが減少するものの、主として、大型機市場の開拓を推進する北米や、油圧クローラドリルの受注が好調な東南アジアでの増収を見込みます。全体としては、売上高は、若干の増収となるものの、営業利益は、円安による増収効果があった当期並みとなる見込みです。

ユニック部門は、主として、クレーン架装に影響を及ぼしているトラックの生産遅延および減産が回復に向かっている国内において、大幅な増収となる見込みです。全体としては、売上高は、増収となり、営業利益も、増益となる見込みです。

金属部門は、通期の銅価および為替の前提を、それぞれ8,000米ドル/トン、135円/米ドルとしました。小名浜製錬株式会社との委託製錬契約を終了したことにより、電気銅の販売数量が減少することを主因として、売上高は、減収となり、営業利益は、委託損益が改善するものの、価格差益による増益がなくなるため、減益となる見込みです。

電子部門は、半導体市場が低調なため、高純度金属と素の需要回復は下期以降となる見込みですが、生産能力増強のための設備投資の効果が期待できる窒化アルミセラミックスや、自動車市場が回復傾向にあるコイルで増収となる見込みです。全体としては、売上高は、増収となり、営業利益は、電気料金や原材料価格の上昇などの影響により、減益となる見込みです。

化成品部門は、クラウドサーバー用モジュール基板向けの需要が堅調な酸化銅の増収などにより、全体としては、売上高は、増収となり、営業利益も、増益となる見込みです。

不動産事業は、主力ビルである古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）について、主として、事務所テナントの減床および賃料単価の低下による減収を見込み、減益となる見込みです。

以上の結果、経常利益は、為替差益の計上などがあった当期に比し、1億48百万円減益の92億円となる見込みで、親会社株主に帰属する当期純利益は、2億11百万円減益の60億円となる見込みです。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|--------------------|---------|---------|--------|
| 総資産（百万円） | 229,727 | 232,745 | 3,017 |
| 負債（百万円） | 129,652 | 126,695 | △2,957 |
| （うち有利子負債 （百万円）） | 65,671 | 62,848 | △2,822 |
| 純資産（百万円） | 100,075 | 106,050 | 5,975 |
| 自己資本比率（%） | 42.3 | 44.2 | 1.9 |

当期末の総資産は、対前期末比30億17百万円増の2,327億45百万円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が増加し、現金及び預金や原材料及び貯蔵品が減少したこと、また、売却などにより投資有価証券が減少したことによるものです。有利子負債（借入金）は、対前期末比28億22百万円減の628億48百万円となり、負債合計は、支払手形及び買掛金、未払金の減少などにより、対前期末比29億57百万円減の1,266億95百万円となりました。純資産は、対前期末比59億75百万円増の1,060億50百万円となり、自己資本比率は、対前期末比1.9ポイント増加し、44.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

| | 前期 | 当期 | 対前期増△減 |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | 8,768 | 6,148 | △2,620 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | △5,857 | △1,617 | 4,239 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | △6,568 | △5,934 | 633 |
| 現金及び現金同等物（百万円） | 14,468 | 13,606 | △862 |

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、主として、税金等調整前当期純利益の計上などにより、61億48百万円の純収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主として、有形固定資産の取得による支出により、16億17百万円の純支出となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、主として、借入金返済による支出や配当金の支払額等の支出により、59億34百万円の純支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、対前期末比8億62百万円減の136億6百万円となりました。

③キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2020年 3月期 | 2021年 3月期 | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 自己資本比率 (%) | 36.0 | 42.0 | 42.3 | 44.2 |
| 時価ベースの 自己資本比率 (%) | 19.8 | 23.9 | 21.8 | 20.9 |
| 債務償還年数 (年) | 8.4 | 11.5 | 7.5 | 10.2 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 16.4 | 13.1 | 20.4 | 12.4 |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

①各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

②株式時価総額は、期末株価（終値）×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

③営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

④有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債（借入金）を対象としております。

⑤利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するための投資を優先したうえで、安定的・継続的な株主還元を実行していきます。

①配当に関する方針

配当につきましては、増配および中間配当の実施を検討し、原則として1株当たり50円以上の年間配当金および連結自己資本総還元率3%以上を目安といたします。

②内部留保について

収益の確保に不可欠な内部留保を念頭に置き、投資にあたっては、投資に伴うリスクおよび資本コストを勘案した採算性に留意して対応します。

③自己株式の取得・消却に関する方針

自己株式の取得・消却については、株価の動向や資本効率、キャッシュ・フロー等を勘案しつつ適宜検討していきます。なお、1事業年度における自己株式の取得の目安は、概ね10億円程度とします。

2023年3月期の期末配当につきましては、1株当たり50円00銭とさせていただきます。

2024年3月期の配当予想につきましては、第2四半期は無配、期末は1株当たり50円00銭としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,469 | 13,606 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 28,344 | 35,502 |
| 商品及び製品 | 17,205 | 18,705 |
| 仕掛品 | 10,813 | 12,213 |
| 原材料及び貯蔵品 | 20,818 | 15,584 |
| その他 | 4,635 | 4,318 |
| 貸倒引当金 | △48 | △47 |
| 流動資産合計 | 96,238 | 99,882 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 24,051 | 23,435 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 8,789 | 9,384 |
| 土地 | 54,170 | 53,910 |
| リース資産（純額） | 429 | 463 |
| 建設仮勘定 | 517 | 900 |
| その他（純額） | 3,018 | 2,888 |
| 有形固定資産合計 | 90,976 | 90,981 |
| 無形固定資産 | 376 | 317 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 35,860 | 34,711 |
| 長期貸付金 | 4,495 | 4,573 |
| 繰延税金資産 | 351 | 749 |
| 退職給付に係る資産 | 403 | 351 |
| その他 | 1,746 | 1,947 |
| 貸倒引当金 | △720 | △769 |
| 投資その他の資産合計 | 42,136 | 41,563 |
| 固定資産合計 | 133,489 | 132,862 |
| 資産合計 | 229,727 | 232,745 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,916 | 14,397 |
| 電子記録債務 | 9,381 | 9,244 |
| 短期借入金 | 13,504 | 16,607 |
| リース債務 | 188 | 186 |
| 未払金 | 13,310 | 12,806 |
| 未払法人税等 | 1,491 | 1,711 |
| 賞与引当金 | 138 | 137 |
| 工事損失引当金 | — | 6 |
| 環境対策引当金 | 3 | 58 |
| その他 | 5,924 | 7,954 |
| 流動負債合計 | 59,859 | 63,111 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 52,166 | 46,240 |
| リース債務 | 302 | 387 |
| 繰延税金負債 | 10,501 | 10,141 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,399 | 1,367 |
| 退職給付に係る負債 | 2,543 | 2,481 |
| 環境対策引当金 | 58 | — |
| その他の引当金 | 16 | 97 |
| 資産除去債務 | 239 | 228 |
| その他 | 2,565 | 2,638 |
| 固定負債合計 | 69,793 | 63,583 |
| 負債合計 | 129,652 | 126,695 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 28,208 | 28,208 |
| 資本剰余金 | 2 | 2 |
| 利益剰余金 | 54,557 | 58,847 |
| 自己株式 | △2,197 | △3,086 |
| 株主資本合計 | 80,570 | 83,971 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,832 | 12,320 |
| 繰延ヘッジ損益 | △292 | △77 |
| 土地再評価差額金 | 2,602 | 2,582 |
| 為替換算調整勘定 | 35 | 1,564 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,506 | 2,584 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,683 | 18,974 |
| 非支配株主持分 | 2,821 | 3,103 |
| 純資産合計 | 100,075 | 106,050 |
| 負債純資産合計 | 229,727 | 232,745 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 199,097 | 214,190 |
| 売上原価 | 172,995 | 185,575 |
| 売上総利益 | 26,101 | 28,615 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃諸掛 | 2,465 | 3,005 |
| 給料手当及び賞与 | 7,557 | 7,910 |
| 賞与引当金繰入額 | 108 | 78 |
| 退職給付引当金繰入額 | 629 | 525 |
| 貸倒引当金繰入額 | 16 | 10 |
| 研究開発費 | 1,053 | 1,055 |
| その他 | 6,535 | 6,998 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 18,366 | 19,583 |
| 営業利益 | 7,734 | 9,031 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 752 | 847 |
| 持分法による投資利益 | 370 | — |
| 為替差益 | 677 | 1,462 |
| その他 | 1,244 | 836 |
| 営業外収益合計 | 3,044 | 3,146 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 427 | 501 |
| 持分法による投資損失 | — | 860 |
| 休鉱山管理費 | 812 | 814 |
| その他 | 543 | 654 |
| 営業外費用合計 | 1,782 | 2,829 |
| 経常利益 | 8,996 | 9,348 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 76 | 47 |
| 投資有価証券売却益 | 92 | 362 |
| 負ののれん発生益 | 833 | — |
| その他 | 111 | 0 |
| 特別利益合計 | 1,113 | 410 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 157 | 302 |
| 減損損失 | 11 | 133 |
| 子会社整理損 | — | 324 |
| 賃貸ビル解体費用 | 668 | 470 |
| その他 | 135 | 19 |
| 特別損失合計 | 972 | 1,252 |
| 税金等調整前当期純利益 | 9,137 | 8,506 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,715 | 2,811 |
| 法人税等調整額 | △264 | △762 |
| 法人税等合計 | 2,450 | 2,049 |
| 当期純利益 | 6,686 | 6,457 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 208 | 245 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,477 | 6,211 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 当期純利益 | 6,686 | 6,457 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 527 | 491 |
| 繰延ヘッジ損益 | △483 | 106 |
| 為替換算調整勘定 | 723 | 1,413 |
| 退職給付に係る調整額 | 547 | 77 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 20 | 282 |
| その他の包括利益合計 | 1,335 | 2,373 |
| 包括利益 | 8,021 | 8,830 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 7,771 | 8,522 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 250 | 308 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 28,208 | 2 | 50,025 | △1,862 | 76,373 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,953 | | △1,953 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 6,477 | | 6,477 |
| 自己株式の取得 | | | | △334 | △334 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 7 | | 7 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 4,531 | △334 | 4,196 |
| 当期末残高 | 28,208 | 2 | 54,557 | △2,197 | 80,570 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 11,303 | 351 | 2,609 | △826 | 1,959 | 15,396 | 2,594 | 94,364 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,953 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 6,477 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △334 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | 7 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 528 | △644 | △7 | 862 | 547 | 1,286 | 227 | 1,513 |
| 当期変動額合計 | 528 | △644 | △7 | 862 | 547 | 1,286 | 227 | 5,710 |
| 当期末残高 | 11,832 | △292 | 2,602 | 35 | 2,506 | 16,683 | 2,821 | 100,075 |

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 28,208 | 2 | 54,557 | △2,197 | 80,570 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,941 | | △1,941 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 6,211 | | 6,211 |
| 自己株式の取得 | | | | △888 | △888 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 19 | | 19 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 4,290 | △888 | 3,401 |
| 当期末残高 | 28,208 | 2 | 58,847 | △3,086 | 83,971 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 11,832 | △292 | 2,602 | 35 | 2,506 | 16,683 | 2,821 | 100,075 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,941 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 6,211 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △888 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | 19 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 487 | 215 | △19 | 1,529 | 77 | 2,291 | 282 | 2,573 |
| 当期変動額合計 | 487 | 215 | △19 | 1,529 | 77 | 2,291 | 282 | 5,975 |
| 当期末残高 | 12,320 | △77 | 2,582 | 1,564 | 2,584 | 18,974 | 3,103 | 106,050 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日) |
|------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 9,137 | 8,506 |
| 減価償却費 | 4,003 | 4,114 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | 81 | 255 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △92 | △362 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △370 | 860 |
| 負ののれん発生益 | △833 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 433 | 226 |
| 受取利息及び受取配当金 | △878 | △1,110 |
| 支払利息 | 427 | 501 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 345 | △6,798 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △10,328 | 3,219 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 5,955 | △2,143 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 3,700 | △1,119 |
| その他 | △877 | 2,743 |
| 小計 | 10,703 | 8,892 |
| 利息及び配当金の受取額 | 885 | 1,073 |
| 利息の支払額 | △429 | △494 |
| 法人税等の支払額 | △2,484 | △3,400 |
| その他 | 94 | 76 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,768 | 6,148 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,507 | △3,361 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 91 | 239 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △123 | △261 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 107 | 1,380 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △352 | — |
| 子会社株式の取得対価の調整に伴う一部対価の返還による収入 | — | 420 |
| その他 | △71 | △34 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,857 | △1,617 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 15,957 | 57,408 |
| 短期借入金の返済による支出 | △16,062 | △58,300 |
| 長期借入れによる収入 | 220 | 3,200 |
| 長期借入金の返済による支出 | △4,140 | △5,176 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △232 | △208 |
| 自己株式の取得による支出 | △334 | △888 |
| 配当金の支払額 | △1,953 | △1,942 |
| その他 | △22 | △25 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △6,568 | △5,934 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 377 | 541 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △3,279 | △862 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,748 | 14,468 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 14,468 | 13,606 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、国内外で主に機械の製造販売、銅の委託製錬・販売及び電子・化成品の製造販売等を行っております。

当社グループでは、事業持株会社体制の下、各中核事業会社等が、取り扱う製品等について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、当社は各中核事業会社等の管理・監督を行っております。

したがって、当社グループは、主に中核事業会社を基礎とした製品等についてのセグメントから構成されており、「産業機械」、「ロックドリル」、「ユニック」、「金属」、「電子」、「化成品」、「不動産」の7つを報告セグメントとしております。

「産業機械」は、ポンプ、破碎機、粉碎機、分級機、造粒機、ベルトコンベヤ、環境機器、リサイクルプラント、鋼構造物、橋梁等産業用機械の製造・販売・サービス、各種工事請負を行っております。「ロックドリル」は、油圧ブレーカ、油圧圧砕機、プラストホールドリル（空圧・油圧クローラドリル、ダウンザホールドリル、アタッチメントドリル等）、トンネル工事・鉱山用機械（トンネルドリルジャンボ、コンクリート吹付機、鉱山用ドリルジャンボ等）等の製造・販売を行っております。「ユニック」は、ユニッククレーン、ミニ・クローラクレーン、オーシャンクレーン（船舶用クレーン）、ユニックキャリア等の製造・販売を行っております。「金属」は、原料鉱石を海外から買入れ、共同製錬会社に委託製錬して生産された電気銅、電気金、電気銀、硫酸等の製造・販売及び石灰石の採掘・販売を行っております。「電子」は、高純度金属元素、結晶製品、コア・コイル、窒化アルミセラミックス、光学部品等の製造・販売を行っております。「化成品」は、硫酸、ポリ硫酸第二鉄水溶液、硫酸バンド、亜酸化銅、酸化銅等の製造・販売及び酸化チタン等の販売を行っております。「不動産」は、不動産賃貸業、取引業等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|------------------------|---------|--------|--------|---------|-------|--------|
| | 産業機械 | ロックドリル | ユニック | 金属 | 電子 | 化成品 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,723 | 30,910 | 28,305 | 102,995 | 7,271 | 7,896 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 2,867 | 2 | 100 | 228 | 0 | 55 |
| 計 | 20,590 | 30,913 | 28,405 | 103,223 | 7,272 | 7,951 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,396 | 1,117 | 2,165 | 940 | 666 | 743 |
| セグメント資産 | 23,862 | 36,081 | 30,259 | 35,649 | 7,857 | 16,949 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 466 | 901 | 1,116 | 179 | 298 | 237 |
| のれん償却額 | — | — | 7 | — | — | — |
| 持分法適用会社への投 資額 | — | — | 129 | 3,399 | 231 | — |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 1,703 | 247 | 718 | 325 | 265 | 105 |

| | 報告セグメント | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------|
| | 不動産 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,115 | 197,217 | 1,879 | 199,097 | — | 199,097 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 13 | 3,268 | 1,623 | 4,891 | △4,891 | — |
| 計 | 2,128 | 200,486 | 3,502 | 203,989 | △4,891 | 199,097 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 743 | 7,772 | 17 | 7,789 | △54 | 7,734 |
| セグメント資産 | 26,660 | 177,321 | 4,434 | 181,756 | 47,971 | 229,727 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 419 | 3,619 | 92 | 3,712 | 47 | 3,759 |
| のれん償却額 | — | 7 | — | 7 | — | 7 |
| 持分法適用会社への投 資額 | — | 3,760 | 160 | 3,920 | — | 3,920 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 595 | 3,961 | 45 | 4,006 | 772 | 4,778 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、運輸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△54百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

(2) セグメント資産の調整額は、47,971百万円であり、その主なものは余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|------------------------|---------|--------|--------|---------|-------|--------|
| | 産業機械 | ロックドリル | ユニック | 金属 | 電子 | 化成品 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,943 | 35,752 | 27,961 | 111,424 | 6,926 | 8,454 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 2,892 | 3 | 280 | 228 | — | 55 |
| 計 | 20,836 | 35,756 | 28,242 | 111,652 | 6,926 | 8,509 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,515 | 3,030 | 1,547 | 1,276 | 500 | 532 |
| セグメント資産 | 26,562 | 38,795 | 31,659 | 33,533 | 8,861 | 17,171 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 507 | 916 | 1,178 | 160 | 321 | 238 |
| のれん償却額 | — | — | 8 | — | — | — |
| 持分法適用会社への投資額 | — | — | 137 | 2,826 | 204 | — |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 912 | 708 | 504 | 208 | 1,125 | 237 |

| | 報告セグメント | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------|
| | 不動産 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,056 | 210,519 | 3,671 | 214,190 | — | 214,190 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 11 | 3,472 | 1,805 | 5,278 | △5,278 | — |
| 計 | 2,068 | 213,991 | 5,476 | 219,468 | △5,278 | 214,190 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 835 | 9,238 | △133 | 9,104 | △73 | 9,031 |
| セグメント資産 | 26,642 | 183,227 | 5,269 | 188,497 | 44,248 | 232,745 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 390 | 3,712 | 132 | 3,844 | 42 | 3,887 |
| のれん償却額 | — | 8 | — | 8 | — | 8 |
| 持分法適用会社への投資額 | — | 3,168 | 175 | 3,343 | — | 3,343 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 3 | 3,701 | 204 | 3,906 | 281 | 4,187 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△73百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

(2) セグメント資産の調整額は、44,248百万円であり、その主なものは余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 2,505円01銭 | 2,700円87銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 165円87銭 | 161円97銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日) |
|--------------------------------|---|---|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円) | 6,477 | 6,211 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円) | 6,477 | 6,211 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 39,054 | 38,351 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2023年3月期 決算短信 補足資料

2023年5月12日
古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位：百万円 単位未満切捨て)

| | 2023年3月期 決算 | 対前年増減 | 2024年3月期 | |
|----------|----------------|--------|----------|---------|
| | | | 年度予想 | 対前年増減 |
| 機械事業 | 81,658 | 4,719 | 87,000 | 5,341 |
| 産業機械部門 | 17,943 | 220 | 18,500 | 556 |
| ロックドリル部門 | 35,752 | 4,841 | 36,000 | 247 |
| ユニック部門 | 27,961 | △343 | 32,500 | 4,538 |
| 素材事業 | 126,804 | 8,640 | 91,600 | △35,204 |
| 金属部門 | 111,424 | 8,429 | 74,800 | △36,624 |
| 電子部門 | 6,926 | △345 | 7,700 | 773 |
| 化成品部門 | 8,454 | 557 | 9,100 | 645 |
| 不動産事業 | 2,056 | △58 | 1,700 | △356 |
| その他 | 3,671 | 1,791 | 4,200 | 528 |
| 【合計】 | 214,190 | 15,093 | 184,500 | △29,690 |

〔営業利益〕

| | 2023年3月期 決算 | 対前年増減 | 2024年3月期 | |
|----------|----------------|-------|----------|-------|
| | | | 年度予想 | 対前年増減 |
| 機械事業 | 6,093 | 1,414 | 7,400 | 1,306 |
| 産業機械部門 | 1,515 | 118 | 1,500 | △15 |
| ロックドリル部門 | 3,030 | 1,913 | 3,100 | 69 |
| ユニック部門 | 1,547 | △617 | 2,800 | 1,252 |
| 素材事業 | 2,309 | △40 | 1,600 | △709 |
| 金属部門 | 1,276 | 336 | 500 | △776 |
| 電子部門 | 500 | △165 | 400 | △100 |
| 化成品部門 | 532 | △210 | 700 | 167 |
| 不動産事業 | 835 | 92 | 400 | △435 |
| その他 | △133 | △150 | △150 | △16 |
| (計) | 9,104 | 1,315 | 9,250 | 145 |
| 調整額 | △73 | △18 | △50 | 23 |
| 【合計】 | 9,031 | 1,297 | 9,200 | 168 |

〔為替・銅価〕

| | 2023年3月期 決算 | 対前年増減 | 2024年3月期 | |
|----------|----------------|--------|----------|-------|
| | | | 年度予想 | 対前年増減 |
| 為替 円/\$ | 135.5 | 23.1 | 135.0 | △0.5 |
| 銅価 \$/mt | 8,551 | △1,140 | 8,000 | △551 |

※参考情報（以下の数値は参考値です）

1. 産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当連結会計年度末における受注残を示すと、次のとおりです。

| | 2023年3月期 連結会計年度末 | 対前年増減 |
|-----|---------------------|-------|
| 受注残 | 142億円 | 48億円 |

2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

| | 2023年3月期 連結会計年度 | 対前年増減 |
|--------|--------------------|-----------|
| 営業利益 | 12.7億円 | 3.3億円 |
| 内価格影響分 | 11.8億円 | △3.3億円 |
| 銅 | (0.7億円) | (△11.0億円) |
| 金 | (10.2億円) | (7.5億円) |